

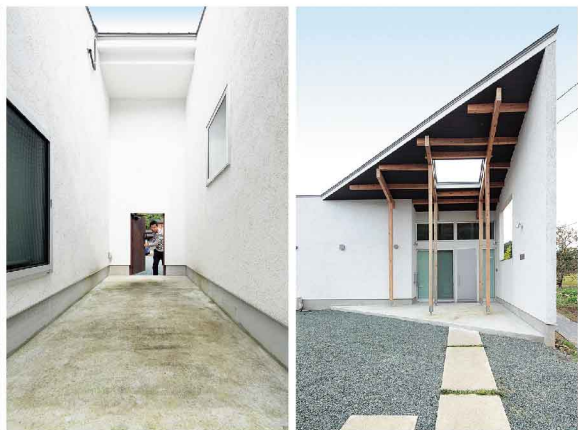


「SORAデザイン」がつくった
上天草市在住 / Uさんの住まい

「家族」の絆を繋ぎ、「個」を育てる。 「幸せ」を哲学して建てた家の3年後。

身を置く空間によって家族も個人も変わる。
「SORAデザイン」が取り組んでいるのは、
それぞれが成長していくための家づくり。
「暮らし方」を磨き、家族を幸せに導くには、
その答えとなる3年後の家族をレポート！

右/家の北側に位置する、ご主人の事務所玄関。額縁のように切り取られた西側の壁と天井は、台風対策のため。中/事務所と住まいを隔てる渡り廊下。扉は、あえて低めに設計し、見た目にメリハリをつけた。左/軒下には、揺らめきが気持ちいいハンモックを。暮らしに遊び心をプラスするのは、ご主人の得意分野



南側から見たL字型の母屋と6畳の離れ。その間を結ぶ、圧倒的な広さのウッドデッキや飛び石は、子どもたちのアスレチック代わりに！



左に大容量の靴箱。右に造作のベンチ兼収納。床はお掃除しやすい土間仕様。何気ないようで使い勝手が抜群の玄関

家族の「幸せ」を哲学して 造る住まいとは

きっかけは、事業を営むご主人が、事務所の新設を検討し始めたこと。情報収集をする中で、ご主人の目に留まったのが「SORAデザイン」の家だった。普段から人一倍アンテナの高いご主人はほぼ即決だったとか。設計は、数々の受賞歴を持つ

建築家 井内清志氏。打ち合わせ

の際、建築家からの提案は、離れへの飛び石替わりに配された広々としたデッキや、全面ガラス張りのお風呂など、意表をつかれることも多かったのだとか。けれども、「住んでみると良かった！」とご主人。抵抗のあったガラス張りのお風呂は、必要な時に目隠しができるよう配慮された造りで、さらに奥さまが家事をしな

自転車や釣りなど、多趣味なご主人の趣味の道具を収納する倉庫。開放型の扉は便利！



がら入浴中の子どもたちに危険がないか、目を配りやすいという利点も。「楽しそうにお風呂に入っている姿を見る度に、幸せを感じています」と笑顔が広がる。



リビングからキッチンまで一続きの造り。横幅は、建築家のアドバイスのによって、人が居心地の良さを感じるという2間(約3.6m)の幅で設計



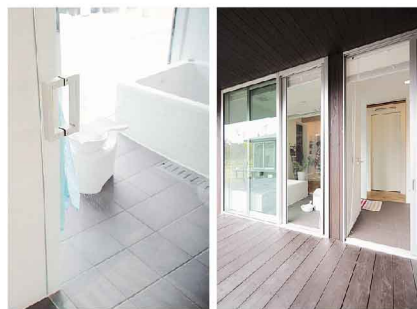
天井が高く、落ち着いた空間のご夫婦の寝室。実は全ての部屋が南側に面しているという贅沢な造りだ



子ども部屋を見下ろす形で設置されているロフトは、子どもたちの格好の遊び場。「せっかくの遊び場なので、あえて荷物は置いていません」とは奥さまの愛情あるお言葉



意外と湿気に悩まされること多い脱衣所の床は、お風呂から一続きのタイル張り。見た目も損なわず、理にかなう



私の好きな場所

【子ども部屋】

3つ並んだ子ども部屋の間取りは、仲良し兄妹の象徴のよう。廊下に設置された、ハンガーの高さに注目したい。それぞれが自分で服を選んで着る、という行為を促す細かい配慮が光る。上部の棚には、ご夫婦の趣味の本を収納

開放的なのに、効きがイイ年中、裸足で過ごす生活

住み心地は？と尋ねると「最初は、雰囲気やデザイン力に惹かれました。実際は機能性も十分！断熱材は、遮熱性や遮音性の高い吹き付け断熱を使用。すべての窓ガラスに熱交換率が低く、結露のないペアガラスを施工することで、年間を通して裸足の生活ができます」とご主人。「冷暖房の効きが良く、電気代が安くて驚きました！」と奥さまも大満足の様子。惚れ込んだデザイン力に関しては、「部屋に無駄な広さを持たせず、各部屋のプライベートを明確に線引きしすぎないことで、家族をより身近に感じられます。また、スイッチの位置や廊下の収納の高さなど、子ども目線の動きにまで配慮した空間づくりの視点はさすが！」とご主人。目には見えない「幸せ」という感覚を、家が住む人に示唆してくれる。「SORAデザイン」が生み出すのは、そんな幸せの形をした家だ。

世代を超えて遊び心を誘うユニバーサルなデザイン力

U邸には毎日10人単位で人が集まる。ご夫妻の友人から、子どもたちの友人、その家族まで集うことも。庭でサッカー、ウッドデッキで鬼ごっこ、芝生ではパーベキュー、時にはキャンプまで……「僕らも人が集まる家になりたい、とは言いましたが想像以上(笑)」とご主人。「遊び盛りの子どもたちから、時々物を壊されては雷を落とす(笑)。でも人との関わりは、財産になるでしょ？」と奥さま。

家族にとっての「幸せ」とは。大切にしたいものとは。物質的な豊かさでは測れない、暮らしに根付く幸せを知っている家族だった。